すぎやまさん　2023/09/20　workshop リハーサル　記述者:菊池陸大

全体を通して

秋葉さん

DAC値とADCの関係が分かりにくい

→解析方法のスライドの前にDACとADCの関係を示す

　3bitのADC分布で一回にとれるデータをヒストグラムで示す(?)

蜂谷さん

FPHXについて

普通はADC分布における3bitのしきい値を変更することができないが、それだと不便なのでFPHXは変更できるようにしてあるという特徴がある

タイトルについて

秋葉さん　センサーだけの話ではなく、Chip(INTT)の機能の評価ではないか

蜂谷さん　DACスキャンは実際の測定ではできない　本来の分布が、実際の測定ではどの程度ぼやけるかを知る

→通りがいいならタイトルを変えてもいいかも

2p

陽子対は500GeVでない

3p

右図において、INTTとMVTXが塊になっている

検出器を輪切りにしたトラッキングの絵に変えてもいいかも

4p

タイトルを　研究目的　に変える

2021年でのビームテストとのコンディションの違いを明確にする

なぜcommissioningをやり直すのかをかく

Condition(Au-Au衝突200GeV 的な)を明確に

5p

特になし

6p

DACとADCの関係をわかりやすく示す

7p

100GeVを200GeVに訂正

実験開始日の明記　(GW明け？(中川さん) 5/10?(糠塚さん))

そのうち、DACスキャンに用いたデータの日付も書くといいかも

8p

特になし

9p

測定時間がばらばらのデータを用いてグラフを作っているため、ちゃんと規格化していることを明記する

右図は2021年の測定結果だということを明記する

MIP値が何エレクトロンに相当するか(?)　DACの1binは何エレクトロンに相当するか(?)

チップの電気的ノイズの大きさが重要であり、質問される可能性あり

→知っていれば書く

10p

ノイズである可能性が高い　という表記が不明瞭

ノイズではなかったらどうするのかという質問が来る可能性がある

自分でノイズかどうか判断する基準を明確に示すべき

11p

特になし

12p

特になし

13p

2021年の実験と条件がだいぶ違う

2021年と今回のcommissioningの条件の違いを示す

14p

Commissioning特有の条件

15p

当時のMBD(MBT?)のz分布があれば示したほうが良い

データの数は３つくらいでよい

ピークとは呼べない　スペクトルの位置は変わらない　的な表現に

16p

特になし